



栽培クローズアップ

圃場の準備

10㎡当たりN…P…K 300 350 8 350 400 8 300 350 8の元肥と堆肥を約20kg投入し、定植の1週間前には、マルチを張っておきます。株間は約1mに設定し、圃場の準備を進めます。

栽培期間を延ばすには

長期栽培のためには、仕立てを親づる1本にすること、以下の2点の取り組みが大切になります。

着果節位を上げる

雌花が開花すると、養分は雌花への供給が優先され、茎葉や根へは減少します。収穫開始が1日でも遅くなるよう、雌花は10節目まで除去し、まずは株作りと根圏の確保に努めます。

摘葉・整枝で樹姿の維持を

収穫開始から1カ月が経つころには、主枝の葉がすべて除去されているよう、摘葉を順次進めていきます。なお、それ以降の茎葉の茂り具合については、

2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント キュウリ 子どもの好きな野菜第2位！ みずみずしい味わいと食感が魅力！

株の向こう側が、常に透けて見える状態がキープできるよう、特に摘葉を中心に、整枝を組み合わせた管理を継続します。

また、8〜10節目の側枝は、枝元から切り落とし、株元をスッキリさせることも必要です。なおこれらの3本の枝は、通常側枝で1本、孫枝で1本の果実が収穫できますが、孫枝の収穫は欲張らず、側枝の果実が収穫できた時点で切り落とす方が、着果負担が少なくなるので、長期栽培には有効です。



→長期栽培を目指すためには、10節くらいまでの雌花を除去し収穫を遅らせる。



↑7節目までは側芽をとり、株元をすっきりさせる。

短期多収をねらうには

仕立てを親づる1本仕立てよりも、親づる1本、子づる2本の3本仕立てにし、初期から葉枚数を稼ぐようにします。7節目までは、子づると雌花を除去し、8節目と9節目の子づるを左右に伸ばし、親づると併せフォーク状に誘引していきます。

3本の主要なつるは、手の届く高さで摘芯し、それらから出る枝については、1本仕立ての場合と同様、1葉もしくは2葉で摘芯を行います。

また3本仕立てでは、収穫開始から1カ月の収量が増える分、株への負担も大きくなりますので、強勢台木の利用や追肥の回数を増やすことで草勢の維持に努めることが重要です。

栽培

Q&A

Q キュウリの夏バテ対策

A 梅雨明け後の夏の日差しは、気温だけでなく、急激な地温の上昇も招き、キュウリの草勢低下の原因となります。対策としては、マルチの上に敷きわらをすることで、日中の地温上昇を緩和できます。わらが手に入らない場合は、「わらイラス」でマルチの上を覆うことでも同様の効果が得られます。また、根の活性を高める「メネデル」や根が伸びやすい土壌環境を整える酸素供給材「M.O.X薬剤」の灌注も、根圏の整備を進めるうえでは効果的です。



↑敷きわらの代わりに地温上昇の緩和の効果も得られる「わらイラス」。

キュウリ(育苗) 耕種基準

畝幅(cm)	270
条数(条)	2
株間(cm)	60

※表示の耕種基準は目安としてご利用ください。

キュウリ担当

しん ひさのり
新 久紀

出荷期間を延ばすなら…

うどんこ病、べと病の耐病性だけでなく、盛夏期に問題となるウイルス病（ZYMV）にも耐病性をもった「Vアーチ」「Vロード」がおすすめです。これら2品種は、耐暑・耐旱性にすぐれ、高温になっても側枝が止まることなく、雌花が多く着生することから、長期にわたっての収穫が可能です。

また「Vアーチ」は、小葉で立性の込みにくい草姿をしていますので、下段の孫枝3～4本を1葉摘芯すれば、以降はあまり枝整理をしなくても、過繁茂にならず、栽培を続けることができます。



↑うどんこ、べと、ウイルス病に耐病性をもち長期栽培に向く「Vアーチ」。

早く出して
短期で勝負するなら…

うどんこ病、べと病に耐病性で、トンネル栽培からお使いいただける「Vシャイン」「夏のめぐみ」がおすすめです。低温期の側枝発生がよいこれら2品種は、果実肥大が早く、収穫が始まってから約3週間で最盛期を迎えるため、初期収量の確保が期待できます。また収穫始めから果形が安定しますので、早期からの良品出荷が可能です。

「夏のめぐみ」については、枝発生と果実肥大のスピードを生かす管理が必要で、側枝はすべて早めに1葉摘芯し、孫枝の発生と果実肥大を促すのが、ポイントになります。



↑初期収量が上がり、果形が美しくそろそろ新品種「Vシャイン」。

味にこだわって
作り込むなら…

「シャキット」と「^{はんじろふしなり}半白節成」を漬け物用として、陳列してみてもいいかでしょうか？「シャキット」は皮がやわらかく、果肉はしまってサクサクした食感が特長で、浅漬け用に最適です。「Vアーチ」と同様の耐病性があり、耐暑性にもすぐれていますので、長期間栽培も可能です。

「半白節成」は、キムチ用に適したかための肉質をもっています。梅雨明け以降は草勢が低下し、収穫量が落ちますが、低温性にすぐれ、ハウス栽培からお使いいただけます。耐病性をもっておらず、各節に雌花が着生する完全雌性型の品種ですので、栽培初期からの定期的な防除と、収穫開始後の1週間に1回の定期的な追肥が、収量確保のポイントになります。



↑果肉がしまっており浅漬けに最適な「シャキット」(写真手前)。



↑「半白節成」は浅漬けだけでなく、オイキムチ（キュウリのキムチ）にも向く。



良苗の見分け方

まず苗の大きさや本葉の枚数に、こだわらないようにします。そして「胚軸（双葉の下）が、長くなく、太くてかたい」「本葉が大きくて厚みがある」ガッチリした苗がよい苗です。また「本葉と地際部に傷、斑点、変色がない」健苗であることも重要なポイントです。

定植苗は、本葉3枚前後が理想です。購入時の苗が、小さかったり、軟弱な場合には、12cmのポットに植え替え、養生、馴化してから、定植するとよいでしょう。



↑胚軸の太さ、葉の厚みなど、本葉枚数や苗の大きさにこだわらず、ガッチリした苗を選ぶ。



2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント

オクラ

子どもの好きな野菜ランキング第10位!!
大人より子どもに好かれる夏野菜

オクラは、人の体内で消化を助ける働きがある粘り成分「ムチン」や「ペクチン」を豊富に含んでおり、暑さで胃腸が弱りがちになる真夏にぴったりで、まさに夏の健康野菜の代表といえます。

栽培クローズアップ

一般的に、生育が旺盛で栽培しやすいことから、要所を押さえた管理作業を行うだけで多収が望めます。

施肥設計

元肥は、栽培初期から過繁茂になるのを防ぐよう少なめに施し、追肥重視の施肥を心掛けるようにします。堆肥を十分に投入したうえで、10㎡当たりチッソ150g、リン酸120g、カリ150gを目安に施します。圃場選定の際は、ネコブセンチュウの発生を防ぐため、連作を避けるようにします。

播種

オクラは種皮がかたく、吸水に時間がかかるため、播種前の一昼夜、ぬるま湯に浸しておきます。こうすること



↑最低地温18℃以上を確保し、発芽をそろえる。



↑オクラは生育旺盛なので元肥は控えめに行い、連作を避ける。

で発芽がそろい、後の栽培管理が容易になります。また、地温が低いと発芽不良を引き起こしやすいため、播種の際は必ず最低地温18℃を確保します。

栽植密度

生育旺盛なオクラは、密植によつて草勢を抑えながら栽培するのが一般的です。株間約20cmで1穴4〜5粒程度播種し、発芽後、3〜4株に間引きします。

灌水・肥培管理

乾燥に強いオクラはなかなかしおれないため、灌水不足になりがちですが、水不足は生育遅れや奇形果発生を引き起こします。開花後は定期的に灌水を行うことで、草勢が長もちし多収につながります。

追肥は1〜2果収穫後から月2回程度、10㎡当たりチッソ成分で30g程度ずつを目安に肥切れを起こす前に施します。

摘葉

オクラの栽培は栽植密度が高いため、摘葉を怠ると光線の透過が悪くなり、病虫害の発生や果実品質の低下を助長します。

収穫節の直下の葉を2枚残し、これ以下の葉を摘葉するようにしましょう。

収穫

「グリーンソード」「アーリーファイブ」は、莢の長さ8〜10cmが収穫適期です。収穫が遅れると角がかたくなるほか、株への負担も大きくなるため、毎日の収穫をおすすめします。丸オクラの「エメラルド」は、莢長15cm程度までかたくならないため、8〜15cmの間で好みのサイズに合わせて収穫できます。



→収穫の目安は基本莢長8〜10cmとし、とり遅れないよう毎日行う。

オクラ耕種基準

畝幅 (cm)	150
条数 (条)	2
株間 (cm)	30

※表示の耕種基準は目安としてご利用ください。

オクラ担当

かわにし たか あき
河西 孝昭

直売所では、スーパーなどではあまり見かけない珍しい品種も人気です。複数の品種をうまく使い分け、バラエティに富んだ品種の出荷を目指しましょう。



↑直売出荷では赤莢や丸莢など、大型量販店では見かけないような品種も取りそろえたい。

出荷期間を延ばすなら…

「グリーンソード」は、強勢で栽培後半まで草勢が旺盛であることから、最も消費が伸びる盛夏から初秋まで、

長期的な収穫が可能です。また、光沢のある極濃緑色の莢は、イボ果などの奇形果の発生も少なく、見栄えがよいことから、店頭でもひときわ目を引きまします。

早く出して 短期で勝負するなら…

五角オクラの「アーリーファイブ」は、鮮やかな濃緑の莢が特長の早生品種です。低い節位から断続的に着莢し、収穫初期から安定して多収を望めるため、早期出荷に適します。



↑収穫初期から多収が望める早生種の「アーリーファイブ」。

味にこだわって 作り込むなら…

丸オクラの「エメラルド」は、莢に角がないため、非常にやわらかな食感が楽しめます。通常の五角オクラでは、15cm程度の大莢になると角が筋張ってかたくなってしまいますが、「エメラルド」は大莢になってもやわらかさが持続するため、収穫サイズに幅をもたせることができます。



←丸い莢で非常にやわらかな食感を持ち、生食にもぴったりな「エメラルド」。

出荷のヒント

ポット育苗で早期出荷を目指す

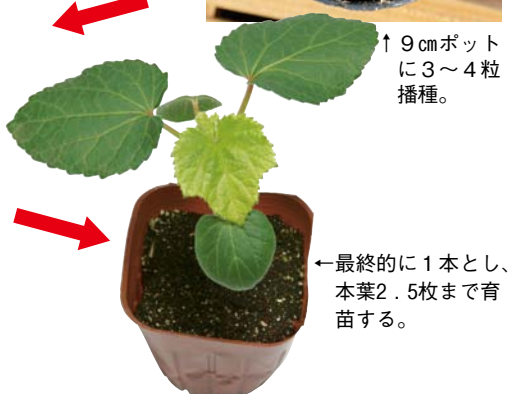
春先に播種を行って早期出荷を目指す作型などで、播種時に最低地温18℃を確保するのが困難な場合は、ポット育苗を行うとよいでしょう。9cmポットに3～4粒ずつ播種し、本葉2.5枚程度まで育苗した後、畝に定植します。定植遅れは根圏の発達不良の原因となるため、十分に注意しましょう。



↑双葉展開後2本に間引く。(写真はプランター栽培)



↑9cmポットに3～4粒播種。



←最終的に1本とし、本葉2.5枚まで育苗する。

私の菜園

私の菜園

赤莢の変わり種 「ベニー」

家庭菜園での栽培には、赤い英色が特徴の「赤オクラ」に属する変わりダネ、「ベニー」はいかがでしょうか。赤オクラは、茹でると赤色が抜けてしまうのですが、莢長5～6cmの若莢は非常にやわらかで、茹でずに生のまま食べてもおいしいことから、刻んでサラダの彩りなどとして使うことができます。ぜひ、家庭菜園で若莢を収穫し、生のオクラを味わってみてください。また、若莢を直売所へ出荷し、消費者へ新しい食べ方を提案するのもよいでしょう。



→若莢をサラダに利用するなど、彩りを楽しみたい赤オクラ「ベニー」。



2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント

スイカ

好きな野菜ランキング総合（果物）堂々第3位！
みずみずしい甘さで大人気

スイカ（育苗）
耕種基準

畝幅（cm）	270
条数（条）	1
株間（cm）	75-90

※表示の耕種基準は目安としてご利用ください。

スイカ担当

おかだ じゅん
岡田 淳

スイカの栽培は難しいといわれますが、裏を返せば栽培次第では品質で差別化が可能だということです。今回は、品質向上に重点をおいた栽培のポイントを解説したいと思います。

栽培クローズアップ

栽培性と果実品質で苗を選択

ユウガオ台木に接ぎ木した苗が栽培性と果実品質の面で安定しているため一般的です。一方、接ぎ木をしない自根苗はつる割れ病や草勢がつきにくい点に注意が必要ですが、昔から最もおいしいとなるといわれています。目的に合う苗を仕立てましょう。



↑食味は自根の方がよいものの、接ぎ木苗の方が栽培性が高く品質が安定する。（写真は接ぎ木苗）

高品質化は畑の準備から

肥料は、10㎡当たりN:P:Kそれぞれ成分量で200gと苦土石灰1kgを目安に投入します。果実の肥大期以降にチッソが効き過ぎると黄筋や空洞を誘発するので、決して多肥にならないよう注意しましょう。スイカの根は過湿に弱いので、水はけが悪い圃場では20cm以上の高畝を立てます。



↑元肥N:P:Kそれぞれ200gと苦土石灰1kgを目安に投入し、後半のチッソの効きすぎに注意。

がっちりした株を作る

定植後は活着を促すため、しおれさせないようこまめに灌水します。親づるが伸びてきたら、本葉5〜6枚で摘芯し子づる4本を目標に仕立てます。

子づるが伸びだしたら灌水を控えて根張りを促すと同時に、夜は涼しめに管理して、節間が短めで葉に厚みのあるがっちりとした株に仕上げます。また、着果するまで孫づるは早めに除去して、草勢を維持しましょう。



↑1株につき子づる4本に仕立てる。主枝は5〜6枚で摘芯する。

交配日を記録して収穫の目安に

18節前後の雌花に交配して着果させます。色の異なる棒を雌花のそばに立てておけば、一目で交配日が分かるため収穫の際に便利です。果実が鶏卵大に膨らんだら、子づる4本仕立ての場合大玉で2個、小玉で3個を残して摘



↑いつ交配したかが分かるよう株に交配日を書いた札をつけておいてもよい。色の違う棒など立てるとなおわかりやすい。

収穫前の水切りで糖度アップ
一般地の7月収穫では交配後、大玉で45日、小玉で35日が目安です。収穫の10日ほど前から灌水を減らして糖度を高めましょう。事前に試し割りをして熟度をチェックした後、交配日に従って収穫していけば品質のそろった良品を出荷できます。

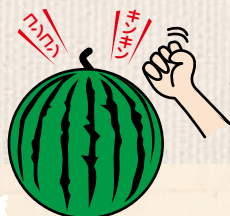
愛らしい縞とさわやかな食味が魅力のスイカは、売り場に季節感をプラスし、訪れるお客さまを目と舌で楽しませてくれます。タキイでは直売所にぴったりなバリエーションに富む品種を取りそろえていますので、人目を引くおいしいスイカを出荷し、リピーターをゲットしましょう！

出荷期間を延ばすなら…

かための果肉で日もちのよい「カメハメハ」をおすすめします。熟してから1週間ほどは畑においても品質を損なわないので、出荷を調整できます。アメリカではポピュラーな「クリームゾンズスイート」タイプの独特な縞模様が存在感をアピールします。



↑独特な縞模様がユニークな「カメハメハ」。在圃性も高いので長期出荷に向く。



スイカはたたいて
中身が分かるか？

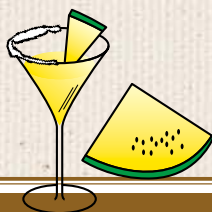
中身が熟すと、打音がキンキンという高い音から低い音に変化しますが、それだけで適熟を判断するのは難しいといえます。交配日が分からない場合は打音のほかに、着果節の巻きひげの枯れ込みや、果実の接地面のオレンジ度合いなども含め総合的に判断して収穫しましょう。

早く出して 短期で勝負するなら…

小玉種を選択してみてもいいでしょうか？ 交配後、大玉種で45日ほどかかるところを35日ほどで収穫できます。中でも「紅しずく」は、低温少日照下の着果と肥大が安定しているため、早出しにオススメです。



↑大玉種よりも10日ほど早く収穫できる小玉種の「紅しずく」。



←スイカのカクテル

味にこだわって 作り込むなら…

自信をもって「紅まくら」をおすすめします。スイカ特有の風味が豊かで、酸味成分が少ないため、糖度以上に甘みを強く感じさせます。珍しい枕形の果形とおいしさがセットになって、消費者の印象に残りやすいと産地でも好評をいただいています。草勢は少し強めで空洞や割れの発生が少ないため、栽培性も良好です。



↑枕形の果形、酸味少なく甘みの濃い食味を兼ね備えアピール度抜群の「紅まくら」。

私の食卓

私の食卓

彩りとおいしさで一押し「シュガームーン」

スイカの果肉といえばもっぱら赤ですよね？ 黄肉は一昔前に流行りましたが、味がよくないと敬遠する方が多いようです。そんな中「シュガームーン」は黄肉の中玉種ですが、シャリも風味もよく非常においしいので私の一押しです。また、黄肉はカロテンを含むため、赤肉とともにスイカカクテルに加えれば、見た目にも体にもおいしい一品になります。

栽培

Q&A

Q 梅雨時期の病害を防ぐには？

A 降雨による葉の傷や土の跳ね返りは、炭そ病やつる枯れ病を誘発します。あらかじめトンネルを設置すれば、雨風からの保護と同時に保温にもなります。また、マルチや敷きわらをしてつるが直接土に触れないようにしましょう。



↑降雨による病害を防ぐため、マルチ・敷きわらなどをする。



栽培クローズアップ

畑の準備

堆肥など有機質を多めに施して深耕し、排水の悪い畑では高畝にします。

元肥は、チッソ、リン酸、カリの分量で10㎡当たりそれぞれ200～250gを施し、畝幅は150～160cm程度とします。

播種

発芽をそろえるために地温を14℃以上確保してください。14℃を下回る作型では、マルチやトンネルで地温を確保します。1畝2条まきで株間30～33cm、10㎡当たり40～45株程度の栽植数が適当です。千鳥に穴をあけて植え付けると、日当たりがよくなり生育もそろいます。1穴3～5粒直播し、本葉が3～4枚出たころ間引きします。間引き後は土寄せし、株元を軽く押さえておきます。

追肥

追肥は大変重要で、極早生品種は本葉5～6枚、中早生種なら本葉6～8

2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント

スイートコーン

好きな野菜総合4位
子どもが好きな野菜第3位
皆が大好き！

枚ごろに第1回目の追肥を行います。

第2回目の追肥は、極早生種は雄穂出穂直前、中早生種は雄穂出穂期に行います。チッソ成分量で10㎡当たり速効性肥料を50g追肥します。

灌水

水分不足は糖度不足、先端不稔、穂の肥大不足につながります。1回目の追肥時期以降は生育が旺盛になりますので乾燥に注意し、開花後も十分な灌水を心掛けてください。

害虫除

アワノメイガに対しては雄穂の出穂期から雌穂の出穂期に粒剤農薬を散布したり、捕殺したりして早めに防除してください。

収穫時期

絹糸抽出日から21～25日ごろが収穫適期です。試しむきをして、先端の粒が十分肥大し粒の色がまわっていれば収穫適期です。



↑開花時～開花後：先端不稔、糖度不足、穂の肥大不足を防ぐため、十分な水を必要とする時期。

〈熟期判定〉



2日前 (さらに未熟) 1日前 (未熟) 適期 1日後 (過熟) 2日後 (さらに過熟)

左側の穂先は未熟で黄色が薄く実が入っていない。

栽培



Q1

苗を定植するのと直播とではどちらがよいですか？

A1 基本的には畑に直接播種する方がよい結果につながります。どうしても早くまいて収穫期を前進したい場合は、深さのあるペーパーポットなどの資材を活用して育苗してください。直根型のスイートコーンは、老化苗を植えると生育が遅れてしまい、早くまいた意味がなくなります。

Q2

1株から2穂収穫できますか？

A2 商品性の高い穂は1番上の第1穂のみになります。第2穂は花粉の供給が不足して、先端不稔が激しくなります。第2穂以下を早めに収穫して、ベビーコーンとして活用すれば、第1穂の肥大が進み、糖度が上がる効果が望めます。



↑第1穂(左)と第2穂(右下)の開花差。開花後1週間以内を目処に下の穂をとり、ベビーコーンとして販売することができる。

スイートコーン 耕種基準

畝幅(cm)	150
条数(条)	2
株間(cm)	30

※表示の耕種基準は目安としてご利用ください。

スイートコーン担当

たなか かず 和幸
田中 和幸

出荷期間を延ばすなら…

熟期に差がある品種を、少しずつ播種をずらして栽培すると、収穫期間を長く保つことができます。播種から84日で収穫できる中早生の「**おひさまコーン**」、86日で収穫できる中早生の「**おひさまコーン7**」、88日で収穫できる中生の「**おひさまコーン88**」を上手に使うリレー栽培することをおすすめします。また、草勢が強くて熟期が遅い「おひさまコーン88」は、栽培が難しい抑制栽培にも利用可能で、収穫期間を秋まで延長することができます。



↑「おひさまコーン」シリーズを使えば、良質のスイートコーンの長期出荷が可能に。

早く出して
短期で勝負するなら…

売り場にできるだけ早く商品を並べるためには、極早生品種の「**ランチャー82**」をおすすめします。一般地で、播種から82日で収穫できる極早生種のため、まだスイートコーンがあまり出回っていない時期にボリュームがある商品性の高い穂を収穫できます。そろいがよく、収穫適期にも幅があるため、急に温度が上がって収穫物のしなびが問題になる初夏収穫の作型でも、安心して利用していただけます。また、店もちがよいため、店先で高い商品性を長く保つことができます。



↑極早生では他の品種に先駆けて出荷でき、しなびに強く店もちもよい「ランチャー82」。

味にこだわって
作り込むなら…

最近あまり市場で見かけなくなったバイカラー品種の「**カクテル84EX**」をおすすめします。糖度が高く、粒のやわらかい極良食味品種で、栽培が容易で、誰でも肥大のよい穂が収穫できます。苞葉の色が濃く、粒色のコントラストが美しいため、直売所ではカラーバリエーションとして目を引く商材になることでしょう。



↑白と黄色のバイカラーが懐かしくて新しい「カクテル84EX」。粒がやわらかくおいしい。

抑制栽培で中生品種
がおすすめの理由

抑制栽培に90日前後の中生品種を使う理由としては、播種、初期生育が高温にさらされる抑制栽培では、早生品種は株ができる前に開花してしまい、まともな穂が収穫できなくなってしまうことにあります。そのため、秋口の品薄時期に収穫したい場合は、早生品種を用いるのではなく、中生品種の播種期で対応するようにします。

〈各品種列伝〉
モノカラー種の先駆け！
黄金色の実がおいしい
「キャンベラ86」

市場でバイカラー品種が全盛のころ、黄色単色種の「**キャンベラ86**」はそれまでにない食味品質と栽培安定性で、多くのファンを得て、現在も家庭菜園の主役として愛され続けています。今でこそ黄色品種が主流になりましたが、ブームの先駆けになった品種といえるでしょう。最近の皮がやわらかい品種では難しくなった、王道の焼きトウモロコシの味を「キャンベラ86」で思い出してください。



↑モノカラー種の走りとなった「キャンベラ86」。最近の品種にはないしっかりとした皮で焼きモロコシにも向く。



2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント

エダマメ

子どもの好きな野菜ランキング第5位！

収穫

開花後30〜40日ごろ、子実の糖含量が最大となり、最もおいしい時期を迎えます。収穫の目安は、普通エダマメは莢の大部分が肥大して未熟莢がわずかに残るころ、茶エダマメや黒エダマメはマメに赤い斑が出始めるころです。エダマメは、収穫直後から急速に鮮度が低下してしまうため、莢もぎや株束などの出荷調製作業は、涼しい場所ですぐに行うなどといった工夫をしましょう。



↑ 収穫適期間近の「快豆黒頭巾」。黒マメは、莢の表面に赤い斑が出てくることが適期。

栽培クローズアップ

エダマメは、ビールのお供などとして古くから親しまれているマメ科野菜ですが、近年では、ダイズと同様の良質たんぱく質をはじめ、食物繊維やカルシウム、ビタミン類などを多く含む健康野菜としても注目を集めています。おいしく食べて夏バテ予防にもつながる、まさに夏にぴったりの野菜エダマメを、出荷品目に取り入れてみてはいかがでしょうか。

エダマメは煩雑な管理作業が少なく、栽培が容易な作物です。要所を押さえた栽培管理を実践することで、多収を実現させましょう。

圃場づくり

圃場は、日当たりがよく、保水性にすぐれた場所を選びましょう。また、土壌中に生息する根粒菌の働きを最大限に引き出すために、石灰などを施すことによって土壌酸度をpH6前後に調整するのもポイントです。



↑ エダマメ栽培では、日当たりよく保水性に富んだ圃場を選ぶことがポイント。

品種選定

エダマメの品種は、早晩性によって細かく分類されています。播種期に合った品種を選ばないと、収量が極端に減少することがあるため注意が必要です。一般地では5月までの播種には早生種や中早生種を、6月以降の播種には中生種や晩生種を使います。

播種

最低地温15℃を確保したうえで播種します。莢の充実には強い光が必要としますので、葉に当たる光の量が不足して着莢不良を招かないよう、過度の密植は避けましょう。



↑ 地温を15℃以上に管理して播種する。

灌水管理

エダマメは乾燥を嫌うので、適度な灌水が重要です。開花前までの灌水は、分枝や節数を増やし、花数を増加させるのに効果があります。開花着莢期以降の灌水は、落花や落莢を防ぎ、収量増加につながります。

エダマメ耕種基準

畝幅 (cm)	60
条数 (条)	1
株間 (cm)	25

※表示の耕種基準は目安としてご利用ください。

エダマメ担当

かわにし たか あき
河西 孝昭

直売所出荷に当たっては、多彩な品種群の中から、出荷形態や播種時期に合う品種をうまく選びましょう。

出荷期間を延ばすなら…

株ごとの一斉収穫が基本となるエダマメにおいて、出荷期間を延ばすには「段まき」が必要となります。中早生種の「**富貴**」は、播種適期が一般地で3月下旬～6月中旬と長く、播種日設定に幅をもたせられることから、1品種で長期間の段まきに対応することができます。



↑大莢でおいしい「富貴」。段まきにする
ことで切れ目なく長期出荷をねらう。



↑ビールのお供として欠かせないエダマメ。
茶マメや黒マメなど直売所ならではの珍しい種類も取りそろえたい。

早く出して 短期で勝負するなら…

早生品種の「**江戸緑**」は、春先の早い時期に播種を行う作型にオススメです。短期収穫が可能で、エダマメがあまり店頭に並んでいない時期に、いち早く初物を出荷することができます。また、収穫期になっても莢がすぐに黄化することがないため、収穫に幅をもたせることもできます。

味にこだわって 作り込むなら…

「**快豆黒頭巾**」は、黒大豆由来の黒エダマメに属する中早生品種で、特有の香ばしさと強い甘みをあわせもった食味のよさが特長です。夏に播種して初秋に収穫する晩生種が多い黒エダマメにおいて、春先の播種が可能な「快豆黒頭巾」は、黒エダマメの流通量が少ない盛夏期に出荷を迎えられるという利点もあります。



↑黒マメ特有の甘みでおいしく、一般の黒マメより早い時期に出荷できる「快豆黒頭巾」。

出荷のヒント

茶エダマメ・黒エダマメでつなぐローテーション

品種をうまく組み合わせると、直売所で人気の茶エダマメや黒エダマメを、シーズンを通して出荷することができます。一般地では、4月に「**早生黒頭巾**」(78日)の播種からスタートし、「**快豆黒頭巾**」「**福成**」(80日)「**濃姫**」(82日)を段まきした後、6月中下旬に一般種の「**丹波黒大粒大豆**」(113頁参照)などを播種することで、初夏から秋まで連続した出荷が実現します。

資材の活用

防虫ネットで虫害を防ぐ

エダマメは、虫による食害を受けやすいため、これを防ぐことが必要です。「**キラリネット**」などの防虫網を使って畝にトンネルを張り、その中で栽培するなどの耕種的な防除が特に効果的で、減農薬栽培にもつながります。ネット内での栽培は、受粉時の適湿を保ったり、莢肥大期に発生する莢傷みを防いだりするのも役立ちます。



↑タキイ「キラリネット」などを使用すれば虫害を防ぐとともに減農薬栽培にもつながる。

栽培

Q&A

Q 大莢を 収穫するための コツはありますか？

A エダマメは、開花が終わって莢肥大に移行する時期に、最も多くの養分が必要になります。この時期をねらって、追肥や葉面散布を施すと莢肥大が促され、大莢の収穫につながるほか、食味もよくなります。

→
タイミングのよい追肥
でしっかりとした大莢
の収穫をねらう。





2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント

インゲン

ビタミンB₁B₂が豊富
疲労回復・夏バテ防止に！

インゲンは、和食の彩りや洋食の付け合わせなどとして、広く日本人に親しまれています。現在では冷凍品や加工品が多く流通するようになりましたが、本来のおいしさを楽しむには、とれたてを味わうのが一番です。この夏はインゲンを出荷品目に取り入れ、収穫直後の新鮮なインゲンで、直売所を訪れた消費者の目をぐっと引き付けましょう。

栽培クローズアップ

インゲンは、要所を押さえて管理の手を少し加えてやるだけで、秀品率をぐっと上げることができます。

圃場づくり

連作障害が出るため、同じ圃場で繰り返し栽培する場合は、少なくとも3〜4年の間隔をとります。耐湿性が弱いいため、排水のよい圃場を選ぶことも大切です。また、通気性の高い土壌ほど根張りがよくなるため、有機質を十分に施すことが良品多収の最大のポイントです。

栽植密度

過度な密植は日照不足による落花や莢色の悪化の原因となり、秀品率の低下につながります。つるあり種は、畝幅約2m株間約50cmで2条まきとし、葉全体に光が当たるようネット誘引をします。つるなし種は、畝幅約1・5m株間約30cmで2条まき程度としましょう。



↑つるあり種は畝幅約2m株間約50cmで2条まきとし、ネット誘引して栽培する。

発芽、初期生育期の管理

インゲンの発芽最適地温は、20〜25℃です。地温が13℃以下や30℃以上になると、発芽率が著しく低下してしまうため、このような場合はマルチ資材などを用いて適温保持に努めることが重要です。また、この時期は根傷みの原因となる水分過多は避けなければいけません。逆に土壌が乾燥しすぎると、順調な生育が抑えられてしまうため、土壌水分保持という意味でも、マルチの使用をおすすめします。



↑発芽最適地温は20〜25℃。著しい低温を避けるため、マルチを用いて適温保持に努める。

開花着莢期の管理

開花着莢時期は、つるあり種、つるなし種とも、水分が不足すると莢の曲がりや短莢の原因となるため、多めの灌水で適湿を保ちます。特につるあり種は、この時期以降は草勢が衰えないように、適宜追肥を行うことが秀品率を上げるポイントです。



↑つるあり種



↑つるなし種

→開花着莢期はつるなし・つるあり種とも水管理に注意して適湿を保つ。

インゲン耕種基準

畝幅 (cm)	200(つる有) 120(つる無)
条数 (条)	2
株間 (cm)	45(つる有) 35(つる無)

※表示の耕種基準は目安としてご利用ください。

インゲン担当

かわにし たかあき
河西 孝昭

多種多様な品種が流通しているインゲンには、複数の品種を少量ずつ栽培するなどの工夫によって、さまざまなパターンでの出荷が可能となります。

出荷期間を延ばすなら…

長期出荷を目指すなら、つるあり品種がおすすめです。「**スラットワ****ンダー**」は、一般的な丸莢のつるあり種で、莢色が濃く、商品性が高いことが特長です。「**モロッコ**」は、多肉質で厚みがある珍しい英形の品種です。甘みがあって非常においしく、粘りのある独特の食感が楽しめます。



↑ 長期出荷を目指すならつるあり種がおすすめ。おいしさで一押し「モロッコ」。

早く出して 短期で勝負するなら…

つるなし品種は、適期栽培では播種後55～65日という短期間で収穫が可能です。丸英種の「**恋みどり**」は、莢色が従来の品種にはない極めて濃い緑色をしているため、店頭に並べた時に見栄えがよく、消費者の目を引きつけます。同じく丸英種の「**さやっこ**」は、集中着英型の珍しい品種で、一斉収穫が可能であるほか、莢のそろいがよいため、収穫や調製作業の手間が大幅に減少します。



↑ 生育期間の短いつるなし種は早出し短期出荷に適している。極濃緑色の莢が他品種との差別化を図れる「恋みどり」。

味にこだわって 作り込むなら…

「**さつきみどり2号**」は、やや子実の凹凸が目立つ莢が特徴の「どじょうタイプ」に属するつるなし品種です。莢が肉厚でやわらかく、甘みも豊かで食味が非常にすぐれています。

栽培

Q&A

Q 収穫はどのくらいの頻度で行えばよいですか？

A つるあり種の場合、収穫が遅れると草勢が衰えてその後の収量減につながるため、毎日の収穫をおすすめします。つるなし種は、「**さやっこ**」のような集中着英型の品種は一斉収穫が可能です。が、「**恋みどり**」などの通常品種は1週間に2回程度は収穫しましょう。



↑ つるあり種では草勢維持のため、収穫は原則毎日行う。

出荷のヒント

段まきでつるなし品種の 長期出荷を目指す

つるなし品種は、つるあり品種に比べて栽培期間が短く、栽培に手間もかかりません。しかし株が小さい分、収穫期間が短く、長期間の出荷には不適という欠点もあります。これを解決するためには、「段まき栽培」がおすすめです。1～2週間おきに播種することで、計画的な長期間出荷が可能になります。

→ 段まきすることにより、つるなし種でも長期出荷が望める。(写真は「つるなしモロッコ」の収穫)



資材の活用

～株の倒伏防止対策～



↑ つるなし種も、着英期以降の倒伏を防ぐため誘引ひもなどで株を支える。

つるなし種は、ネットによる誘引は不要ですが、特に着英期以降、風雨や莢の重みによって株が傾いたり、倒伏したりすることがあります。莢が地面についてしまうと、莢の曲がりや病害が起こりやすくなるため、フラワーネットや誘引ひもなどの資材を使って、株を支えるようにするとよいでしょう。

※ つるなし品種でも栽培条件によってつるが出る場合があります。



2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント

キャベツ（春まき）

好きな野菜総合第5位！
サラダに炒め物に
万能の葉野菜

栽培クローズアップ

育苗は温度管理に注意

キャベツの生育適温は15℃～20℃ですが、春まき栽培ではこれよりも寒い時期の播種、育苗になることが多いため、温度管理が重要です。温室や温床、被覆資材を利用して最低気温10℃を目安に保温します。ただし蒸し込みすぎると苗が軟弱徒長し、定植後の生育に悪影響を及ぼしますので、日中は25℃程度を目安に換気を行います。また定植1週間前から無理のない範囲で外気に触れさせ、定植後の環境に慣らしましょう。



↑寒い時期の播種となる春まき栽培では温度管理が重要になる。最低気温10℃以上を目安に保温。

施肥管理と収穫

春まき栽培は収穫期に向かって気温が上昇していく作型です。キャベツの生育としては初期が緩慢、中後期にかけて旺盛になっていきますので、初期生育を後押ししてあげる必要があります。また中後期に肥効が残っていると、生育が旺盛になりすぎて腐敗や裂球の原因となるだけでなく、食味・甘さが低下します。そのため元肥主体で、追肥も早めに施し、収穫時期には肥効が落ち着くようにします。

土壌の肥沃度や前作の残留度合いにもよりますが、春まき栽培に必要なチッ



→やや高温で梅雨時期の収穫となるので、裂球や腐敗を避けるため早めの収穫を。

栽培Q&A

Q 春まき栽培で注意すべき病害とその防除法は？

A 菌核病と軟腐病には特に注意が必要です。菌核病は土壌中の原因菌が夏場の湛水で死滅しますので、水田の後に作付けするのが有効です。また、地下深くでは菌の増殖が抑えられるため、作付け前に天地返しを行うことも効果的です。軟腐病は原因細菌が降雨による跳ね返りで土とともに地上部に運ばれ、高温多湿により増殖します。そのため高畝にする、株間を広くとるなど過湿に対する工夫や、ポリマルチを利用するなどの土を付着させない工夫があります。どちらの病害も発生株は抜き取り、被害拡大を抑えるとともに、次作への影響を少なくしましょう。

ソ成分は10㎡当たり200～250g程度です。そのうちの7割程度を元肥、残りを追肥として施用します。

収穫期がやや高温で梅雨と重なり、裂球や過湿による腐敗が起これるので、裂球や過湿に注意し、収穫は早めに行うこともポイントになります。

資材の活用



↑適度の保温性があり、生育促進に効果のある「テクテクネオ」。

「テクテクネオ」を使って効果的な温度管理を

春まき栽培では、定植後の低温ストレスにより側芽が発生して生育が遅れたり、尖り玉になったりすることがあります。平均気温が10℃を下回る時期に定植する場合は、「テクテクネオ」などの不織布をベタがけして保温するのが手軽で効果的です。気温が上がってきたらベタがけを撤去します。栽培地域のソメイヨシノの開花が目安となります。

キャベツ（育苗）耕種基準

畝幅 (cm)	60～120
条数 (条)	1～2
株間 (cm)	30～40

※表示の耕種基準は目安としてご利用ください。

キャベツ担当

徳竹 俊志

出荷期間を
延ばすなら

「涼音」は圃場貯蔵性にすぐれる寒玉中生種です。特に裂球が遅いため、圃場に長く置くことができ、計画出荷が可能です。また肥大性、そろい性にもすぐれています。6月上旬からの気温が上がって来る時期に向けて栽培することで、安定した品質のキャベツを長い間収穫することができます。



↑裂球が遅く圃場に長く置ける「涼音」。

早く出して短期で
勝負するなら

「春波」は春キャベツタイプの極早生良質種です。葉がやわらかくてみずみずしく、食感にすぐれます。早熟性にすぐれるので、ゴールデンウィーク前後の早い時期の収穫に最適です。鮮やかな緑色で、球面には適度なウェーブがあり、新鮮さをアピールするうえでも有利な品種です。その葉のやわらかさから傷みやすく、裂球がやや早いので、早めの収穫で春キャベツとしての季節感と鮮度をアピールすることをおすすめします。



↑作りやすい極早生種。春キャベツの鮮度を生かして差別化を図りたい「春波」。

味にこだわって
作り込むなら

「YR春空」は良質種のやわらかさと、寒玉種のしっかりとした味わいを兼ね備えたおいしい中早生種です。サクサクとした食感とジューシーさが特長で、甘みもあります。サラダでその食感を楽しむのはもちろん、さっと加熱して甘みを際立たせる調理もおすすです。また晩抽性や早熟性、玉ぞろいのよさなど、栽培しやすい特性を持ち合わせています。



↑甘みのあるやわらかな葉の春キャベツなら、さっと火を通しただけのホットサラダなどもおすすめ！
(料理：春キャベツホットベーコンソース)

私の
食卓

私の食卓

丸玉キャベツの魅力

現在日本では「寒玉種」「良質種」が広く周年出回っていますが、もう一つ、量は少ないものの春から秋にかけて「グリーンボール」と呼ばれる「丸玉種」が出回ります。この種は「光沢のある球状の外観」と「肉厚でやわらかく、ジューシーな食感」が特長です。サラダで食べるとしっかりとした噛みごたえと、ジュワッとあふれ出すみずみずしさが楽しめるため、わが家では時折意識して食卓に取り入れ、「寒玉種」「良質種」とは違った魅力を味わっています。また、この肉質を生かした浅漬けは、水っぽくならず味が濃いため格別です。

「ジャンヌ」は春まき適応性にすぐれ、早まき栽培でも尖り玉になりにくい丸玉種です。もちろん丸玉種としての食味のよさももっています。

一般的に丸玉種はほかのキャベツよりも根が弱く、極端な過湿・乾燥を嫌うため、環境を安定させるためにマルチ栽培をおすすめします。

特に生食用に向く特徴をもつ丸玉種を、新鮮さを売りにできる直売所向けに取り入れてみてはいかがでしょうか？「肉厚」「ジューシー」をアピールポイントに、「寒玉種」「良質種」とはまた違ったおいしいキャベツとして押し出してみてください。



←春まきに適する「グリーンボール」「ジャンヌ」。

→肉厚でジューシーな食感。浅漬けにも向く。





栽培クローズアップ

レタスはほかの葉菜類に比べると、温度・施肥量・土壌水分などの外部環境に敏感です。それらを急激に変化させない環境づくりをすることが、上作につながります。春から夏の気温が高く降水量の多い時期は、特に次のような点に注意して栽培してください。



↑レタスは比較的外部環境の変化に敏感。温度・施肥量・土壌水分の管理をバランスよく。

発芽

レタスの発芽適温は20℃前後です。10℃以下の低温や、25℃以上の高温では発芽不良になることがあります。冬の寒い時期であれば、播種後はハ

レタス

2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント
サラダ野菜の定番！鍋料理でも
旨みのある食感が楽しめる！

2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント

ウス内や室内で保温して発芽を促します。

春になり日差しが強くなると、ハウスの中では気温が上がりやすくなりますので、

換気を行

って高温

にならない

ように

します。



↑発芽適温20℃前後。保温・換気など気候によって対応して適温を保つ。

肥培管理

土壌の肥沃度によって適宜調整が必要ですが、一般的にチッソ成分で10㎡当たり春どりは150g前後、夏どりは100～120gを目安にし、速効性の肥料を全量元肥で施します。

肥料が多すぎると、形状の乱れ、軟腐病などの病害、チップバーンの発生などにつながるので注意してください。

マルチの利用

マルチで畝を被覆することで、極端な乾燥や降雨後の過湿を防ぐことができます。雑草の抑制や土の跳ね返りによる病害の発生を抑える効果もあり、マルチの利用は不可欠です。

マルチの色は作型によって使い分けます。低温期は黒マルチで地温を確保し、高温期は白マルチで地温上昇を抑制します。

収穫

春から夏の上昇気温下では、初期の生育はゆっくりですが、後半は気温の上昇と共に生育が旺盛になり、収穫適期が短くなるので注意が必要です。

収穫が遅れて過熟になると、チップバーンの発生やトウ立ちにつながり品質の低下を招きます。早めの計画的な収穫を心がけてください。



↑トウ立ち・チップバーンを避けるために、早めの収穫を心がける。

レタス(育苗)
耕種基準

畝幅(cm)	45~180
条数(条)	1~4
株間(cm)	27~35

リーフレタス(育苗)
耕種基準

畝幅(cm)	45~180
条数(条)	1~4
株間(cm)	25~32

※表示の耕種基準は目安としてご利用ください。

おすすめレシピ

パルメザンチーズサラダ



材料

- ・レタス…1/2個
- ・クレソン…1束
- ・パルメザンチーズ…大さじ3
- 〈ソース〉
- ・マヨネーズ…大さじ1
- ・オリーブオイル…大さじ1
- ・醤油…小さじ1
- ・切り塩昆布…大2
- ・塩…適宜
- ・コショウ…適宜

作り方

- 1 レタス、クレソンはちぎって冷水に晒し、水を切っておく。
- 2 ソースの分量をよく混ぜて1と和える。皿に盛り、パルメザンチーズをかける。

レタス担当

おかだ ゆうへい
岡田 有平

農家レストラン向き類をピックアップ！

出荷期間を延ばすなら…

「グリーンジャケット」は適温期～高温期の栽培に適し、耐暑性・晩抽性にすぐれる濃緑のグリーンリーフです。高温や多雨の条件下でも形状の乱れやチップバーンの発生が少なく、生育がじっくりしていて在圃性もあり、栽培しやすい品種です。春～初夏どりで、出荷期間を延ばしたい場合におすすめです。

私の食卓

私の食卓

歯触りのよい 食感が魅力！ コスレタス

レタスといえばサラダなど生食で使われることがほとんどですが、「コスレタス」は肉厚でシャキシャキ感が強いので加熱調理にも向きます。

私のおすすめ調理法は「鍋」です。短時間加熱することで、コスレタスのシャキシャキ感がほどよく残ります。ハクサイよりも色が濃く、いつもとは違う色合いの鍋になるでしょう。



↑独特のシャキシャキ感が加熱調理でも楽しめる「コスレタス」。

早く出して 短期で勝負するなら…

「マノア」の外見は結球レタスとサラダ菜の中間で、ミニの半結球レタスです。条間・株間共に15cm程度の密植が可能で、小面積でも多くの玉を収穫することができます。生育スピードは早く、適温下では定植後30日程度で収穫できる超極早生です。ほかのレタス類よりも短期間で栽培するのにおすすめの品種です。



↑短期間で収穫でき、半結球でソフトな歯応えがクセになるミニレタス「マノア」。

味にこだわって 作り込むなら…

エンダイブは、レタス類にはないほろ苦い味が特徴で、サラダのアクセントに最適です。普通に栽培すると苦みが強すぎるので、収穫の1～2週間前に結束して内部を軟白させるのがポイントです。

株間や施肥などの設定はリーフレタスと同様に行います。過熱になるとチップバーンが出やすいので、早めの収穫を心がけましょう。



↑ほろ苦い味が特徴のエンダイブ。



↑エンダイブのカリカリトーストサラダ。エンダイブの苦みがアクセントに。



早出しの工夫と 資材の活用

まだ寒い冬の終わりから早春に定植する作型においては、品種の選択と資材の有効活用を組み合わせることで、より早くレタスを出荷することができます。

品種は、「レッドファルダー」「グリーンウェーブ」「マノア」など、低温期でも生育が旺盛なものを選択します。

育苗では128穴や72穴トレイなどを使い、大きい苗を作ります。育苗後半はしっかりと外気に当て、寒さに慣らしておきます。畑は黒・透明・緑など保温効果の高いマルチを使用し、定植後は「テクテクネオ」などでベタがけをします。

春先は病虫害が少なく、無農薬で栽培することも可能です。周りの人よりも一足早い出荷にチャレンジしてみませんか？



↑低温期でも生育旺盛な「グリーンウェーブ」。



↑マルチの使用、「テクテクネオ」でのベタがけなど、保温対策に努める。

栽培



Q 苗の徒長を防ぐには？

A レタスはほかの葉菜類に比べて苗が徒長しやすいので、以下の点に注意して育苗してください。

- ・ 培土は「タキセル培土TM-1」などの、チッソ1ℓ当たり150mg程度の少肥タイプを使用します。育苗は、換気しやすく風通しのよい場所で行います。
- ・ 灌水は、1日に1～2回とし、遅くとも昼までに行います。液肥は苗の状態を見ながら、育苗後半に数回与える程度でよいでしょう。



↑レタス苗の徒長を防ぐには、「タキセル培土TM-1」など少肥タイプの肥料がおすすめです。



2013年直売所出荷を応援！こだわりの栽培ポイント

ベゴニアセンパフローレンス「F1モンザ」シリーズ

ベゴニア担当
たなか ひでのり
田中 秀典

ベゴニアは2000種以上の野生種とその交配種からなる変化に富んだ園芸植物です。花色は白、桃、赤、オレンジと鮮明な色で、花の形は一重から八重、葉も一般的な緑葉から銅葉、斑入りと非常に多彩です。多種多様なベゴニアの中で最も栽培されているのがセンパフローレンス種で、栽培性がすぐれており、春・秋の主要品目になっています。播種期をずらすことで長期間出荷でき、直売所向けに おすすめです。

今回はセンパフローレンス種の中でも直売所出荷向けの極早生品種「F1モンザ」シリーズを紹介します。

直売所にはこの品種！
「F1モンザ」シリーズの
品種特性

1 従来の品種より5〜10日程度開花が早く、花がひとまわり大きい極早生品種。

2 比較的小葉で草姿のバランスがよく、高温下でも徒長しにくくコンパクトにまとまる。

3 一般的な9〜10・5cmポットでの花つき苗出荷から4〜5寸鉢での大株仕立ての出荷も可能。

4 花色はアップルブロッサム、ブラッシュ、コーラル、オレンジスカレット、ピンク、ローズ、サーモンオレンジ、スカレット、ホワイットの全9色のシリーズ。

5 鮮明な花色を生かした単色もしくはミックスといった出荷形態がとれる。

6 極早生品種のため栽培期間を短縮でき、従来品種よりも種子代が安価でコストを抑えることが可能。

栽培のポイント

播種・育苗

播種には「タキイたねまき培土」のような清潔で排水性、通気性のよい用土を使用します。288穴トレイに播種し、好光性種子のため覆土はしないか、もしくは種子が隠れる程度に薄く覆土します。発芽の温度はおよそ20℃で、種子はベレット加工されていますが微細なので、灌水は種子が流れないように目の細かいジョウロで行うか、もしくは底面給水で行います。また、播種から発芽までに乾燥させてしまうと発芽が極端に悪くなるので、土の表面を乾燥させないよう管理します。低温期に播種する場合はビニールなどで被覆し、適温・適湿を保つようにしましょう。

播種後およそ2週間で発芽し、過湿は根腐れの原因となるので、発芽後は灌水を控えめにし、根の伸長を促します。さらに温度を15〜25℃で管理すると順調に生育します。葉色が薄くなる

前に週1回程度、規定濃度で液肥を与えます。

ポット上げ

播種と同様に清潔で、排水性、通気性のよい用土を使用します。播種後2カ月程度（本葉4〜5枚を目安）が適期となります。ポット上げ時に深植えすると根張りが悪くなり、生育が緩慢になるので注意が必要です。また葉が土に埋もれてしまうと、病気の発生を助長することがあるので注意してください。

ポット上げ直後は用土を乾かさないように灌水し、根の活着後は用土が乾いたら灌水するようにします。過湿は根腐れの原因となるので注意し、追肥は週1回程度、定期的に液肥を与えるようにします。

出荷までのポイント

低温期の灌水は葉がいつまでも濡れていると病気が発生しやすくなるので晴れた日の午前中に行い、過湿にならないように注意します。また高温期の暑い時間帯に灌水すると株が弱ってしまふことがあるので、朝夕の涼しい時

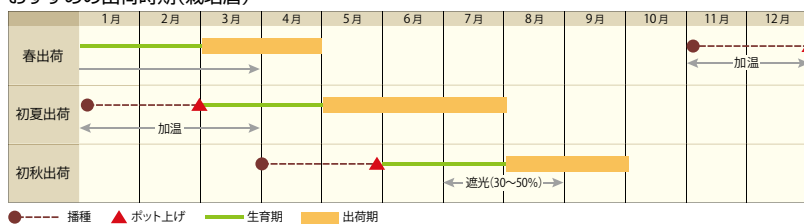


「F1モンザ」シリーズ

品種特性表

品種名	花色	開花の早晩
F1モンザ ブラッシュ	白地に濃桃色	◎
F1モンザ オレンジスカーレット	濃い朱赤色	◎
F1モンザ ローズ	濃桃色	○
F1モンザ スカーレット	緋紅色	◎
F1モンザ コーラル	朱紅色	○
F1モンザ アップルブロッサム	白地に弁縁桃色	○
F1モンザ ピンク	明桃色	◎
F1モンザ ホワイト	純白色	○
F1モンザ サーモンオレンジ	明オレンジ色	○

おすすめの出荷時期(栽培暦)



ネーミングの由来

「F1モンザ」シリーズは、世界最速のF1グランプリレースが行われるイタリアのモンザサーキットに由来しています。従来品種よりも開花の早いことがシリーズ名に相応しいと、命名されました。



間帯に行います。
 8～9月の秋出荷では、30℃を超えるような時期の栽培になります。この作型では開花しなくなったり、また強日照で葉焼けを起こすことがあります。高温・強日照には30～50%程度の遮光と換気をして対応します。

病害対策

スリップスやダニなどが発生しやすいので予防として株元に粒剤を散布することをおすすめします。また傷んだ葉や花からは病気の原因となるので、こまめに取り除いてください。